

## 「心を与える」

まずは与えることから始めよう。富のあるものは富を、才のあるものは才を、時間のあるものは時間を。しかしなんと云っても、人が人に与える最高なものは心である。他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、人とともにどれだけの時間を分け合ったかによって、真の人間としての証がなされる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

日本の古い歴に合わせ、季節の変わり目や人生の節目に沿った書や花、物を飾り心豊かに楽しむことをを室礼(しつらい)と言います。昔ほど自然や季節、行事を意識する機会は少なくなったかもしれませんが、気温の変化を感じたり美しいと思う心や健やかな成長を願うなどの気持ちはきっと今も変わりません。心から湧いてくる自然への思いを形にし、周りの人と気持ちを共有しながら今ならではの室礼を楽しんでみるのもいいのではないのでしょうか。

子どもたちは、戸外に出かけ葉っぱや草を見つけると大切に胸ポケットにいれたり、「持って帰りたい」と大切に握りしめています。室内に戻るとそれらを自分で飾り見るたびに拾った時の嬉しさや喜びを思い出しているようです。秋に向けて木の実や色とりどりの葉を、散歩などで見つける機会が多くなってきます。子どもたちにとって自然を見て、触れてたくさんを感じたことは何事にも変えられない宝物だと思います。「赤い葉っぱがいいな」「まあい実が欲しい」など季節の変化を感じながら、拾い集めた素材を使い、製作をしながら子どもが自らイメージを湧かせ作り出す面白さや出来た時の達成感を沢山味わってほしいと思います。そして、それらを飾ることで達成感や満足感を感じたり豊かな心が育まれていくと思います。

朝夕と涼しくなり気温差があるため、体調に十分留意しながらこの時期にしか体験できない遊びや経験が出来るよう工夫していきたいと考えております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

## 9月聖句

わたしはあなたがたを友と呼ぶ。

ヨハネによる福音書 15章15節

## 9月主題

### 「あそぼう」0歳

- ・保育主の祈りや賛美を通し、神さまを感じる。
- ・探索活動を楽しむ。
- ・安心できる環境の中で、遊ぶ楽しさを知る。

### 1・2歳

- ・保育者や友だちと一緒に聖書の話を聞く。
- ・いろいろなことに興味関心を持ち、試そうとする。
- ・保育者や友だちと応答し合う楽しさを知る。

## ～子どもたちの姿～

日中はまだまだ暑いですが、朝夕はさわやかな空気を感じる季節になりました。晴れた日には、水遊びで冷たさや心地よさを感じ、夏ならではの遊びに笑顔が溢れています。泡遊びでは両手にのせてふわふわしている感触を喜び、両手を擦り合わせ全身をこすりながらお風呂ごっこが始まったり、スポンジを使いバケツやジョウロを洗ったりする姿も見られました。タオルを見つけた子は泡を付けてゴシゴシと洗ったり、水で洗い流したりとを何度も繰り返して行っていました。洗濯ばさみでとめる時には、指先に集中し行い「出来ない」と言っていた子も持ち方や力の入れ方を変えながら諦めず行ったことで出来るようになり「出来たよ見て」と得意げに笑みを見せていました。「自分でやりたい」の気持ちを大切にしながら、これからもやる気や自信、達成感を感じられるよう育ちを支えていきたいと思っております。



9月の予定表	月	火	水	木	金	土	日
		1	2 引渡し訓練	3	4	5	6
	7	8 身体測定	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21 敬老の日	22 秋分の日	23	24	25	26	27
	28	29	30 クレイシュ通信				

◎気温の変化に応じた服装の用意をお願いいたします。  
◎感染症予防のためご家庭でも手洗い、うがいをし、朝の健康観察をお願いいたします。